

# 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)について

平成 29 年 5 月 23 日

国土交通省 四国地方整備局  
高知河川国道事務所

# 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)の事業概要(1)

- 平成26年8月の台風12号、11号と立て続けに甚大な浸水被害が発生
- 平成27年度より「仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)」を採択



## 被害状況

洪水名	総雨量 (mm)	浸水家屋数 宇治川流域)			浸水面積 (ha)
		床上 (戸)	床下 (戸)	合計 (戸)	
平成26年8月 台風12号	875	142	114	256	30

※雨量は、枝川雨量観測所データ  
浸水面積は宇治川流域

①国道33号の浸水状況



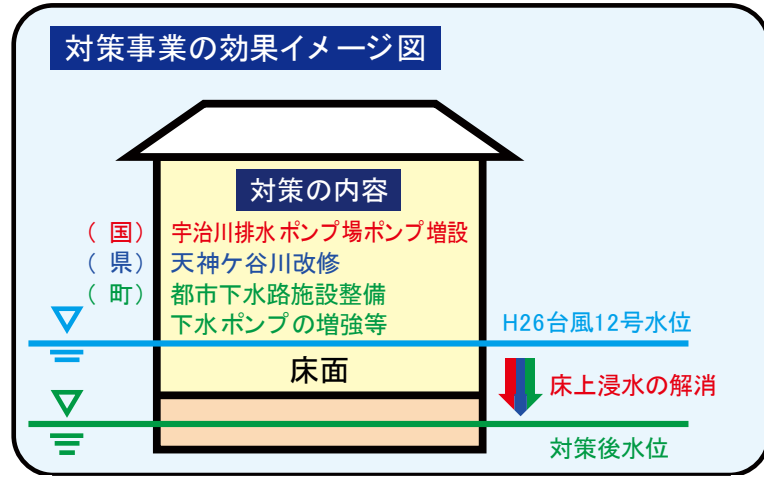
③枝川地区浸水状況



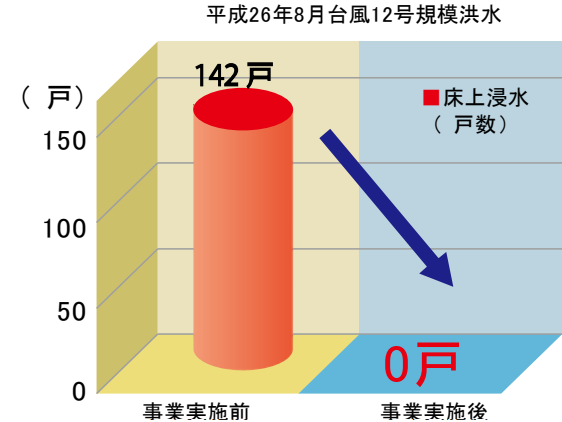
# 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)の事業概要(2)

- 平成26年8月台風12号規模の洪水に対して**床上浸水被害を解消**
- 宇治川排水ポンプ場は**排水能力を52m<sup>3</sup>/s**とするため、  
既設ポンプ能力40m<sup>3</sup>/sに**排水能力を12m<sup>3</sup>/s増設**します

## 床上浸水対策特別緊急事業等の効果



全ての事業を実施した場合の床上浸水戸数



# 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)の進捗状況


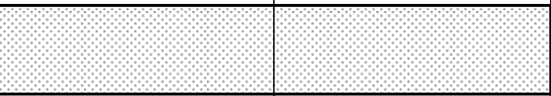
【国土交通省】

- 平成27年4月に仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)着手
- 平成28年12月に宇治川排水ポンプ場のポンプ増設の設計を完了
- 平成28年度にポンプ設備工事、排水ポンプ場本体工事に着手
- 事業期間は平成30年度末の4ヶ年

凡例

実施済  計画 

【仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川) スケジュール】

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度以降
国土交通省	事業期間	(事業着手)			(事業完了予定)	
	設計	(予備設計)	(完了)			
	排水機場ポンプ増設工事		(ポンプ設備工事着手) (排水機場本体工事着手)			(完了)



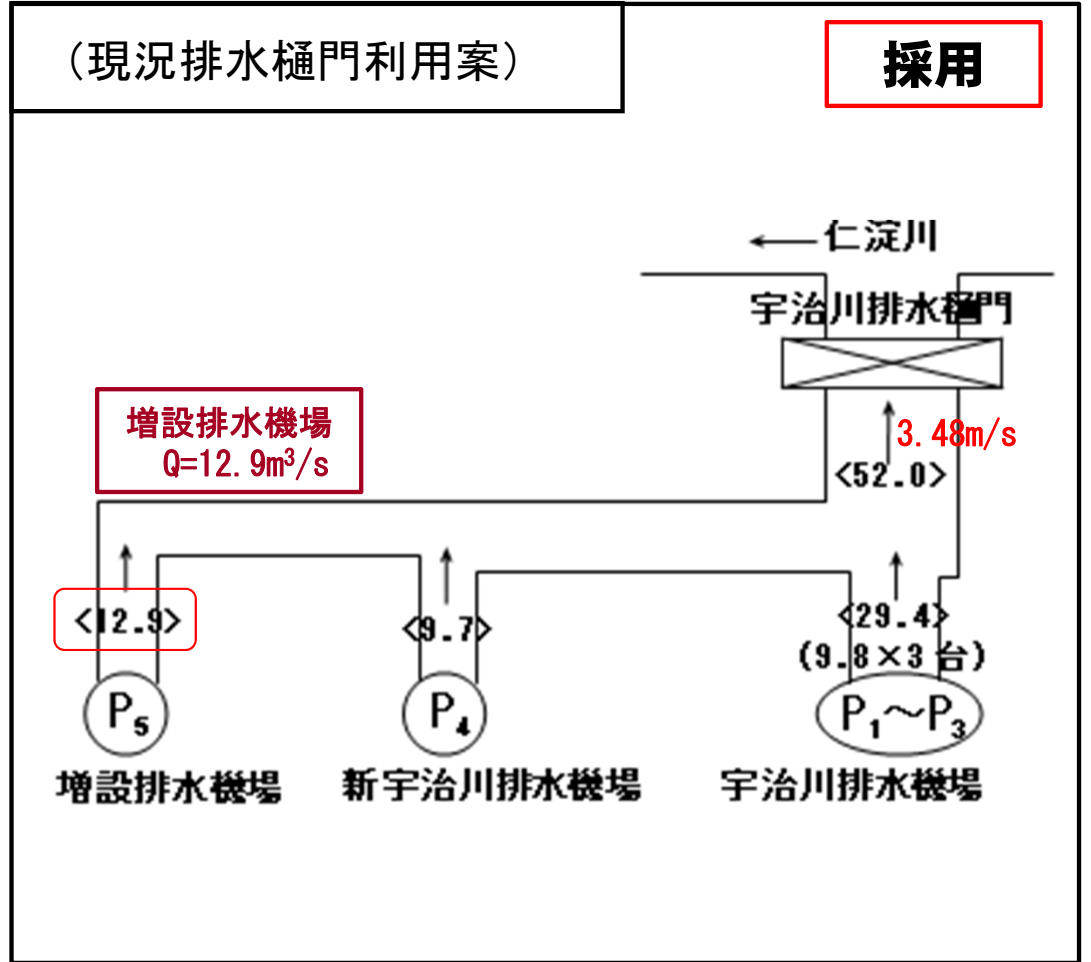
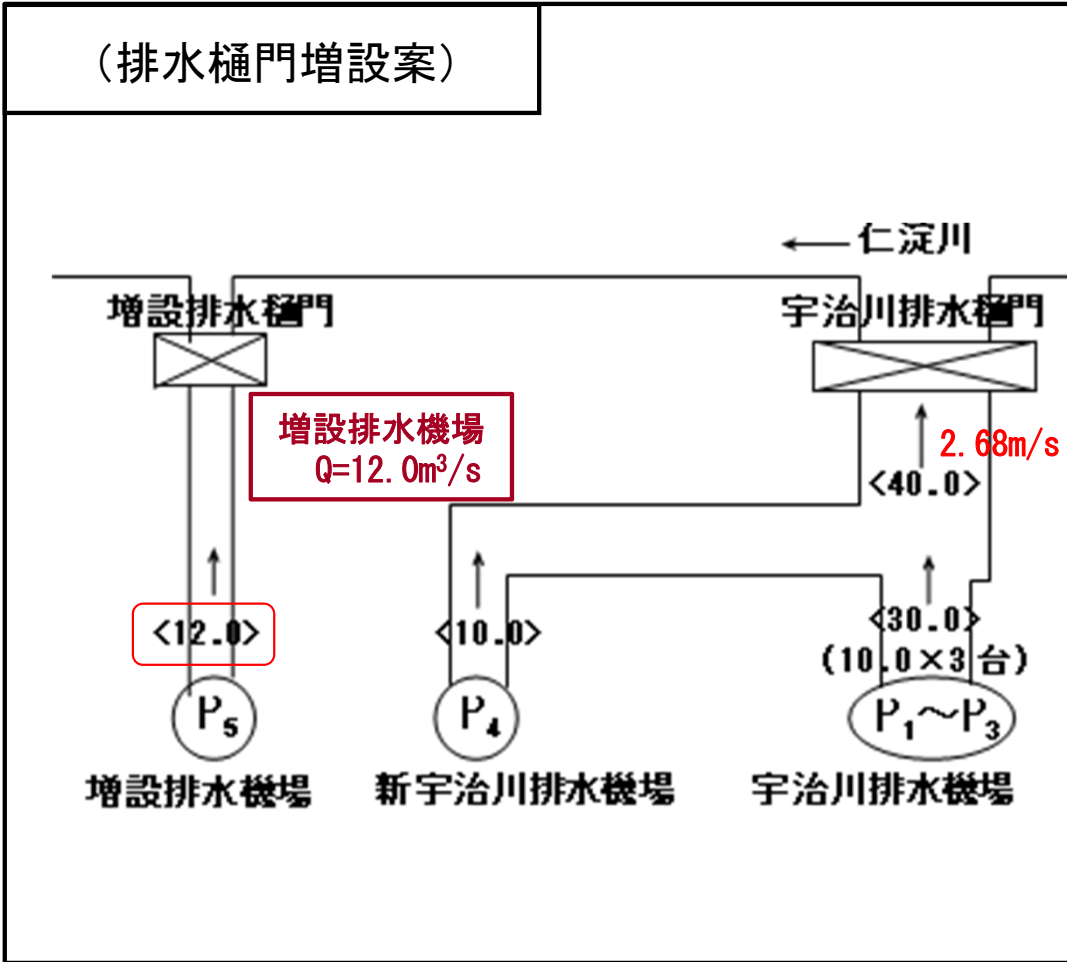
# 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)の計画概要(1)

○排水ポンプ能力を増強するために新たな排水樋門を整備した場合、用地買収、堤防開削が必要となるため、**既設排水樋門を活用**します

◆**着目点**: 現況排水樋門を利用すると、既設ポンプ排水の損失水頭が大きくなり、既設ポンプ排水能力が低下

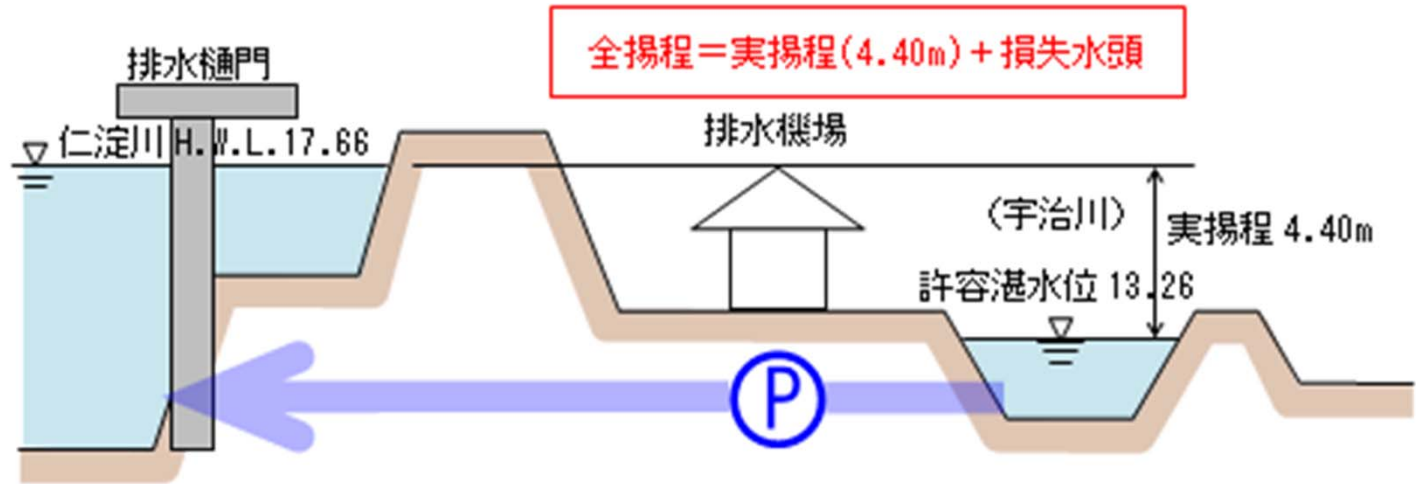
◆**着目点**: トンネル河川の流速を参考にすれば、摩耗に配慮した流速として**2~5m/s**程度が適当とされている

(出典:「建設省河川砂防技術基準(案)同解説(設計編I)」)

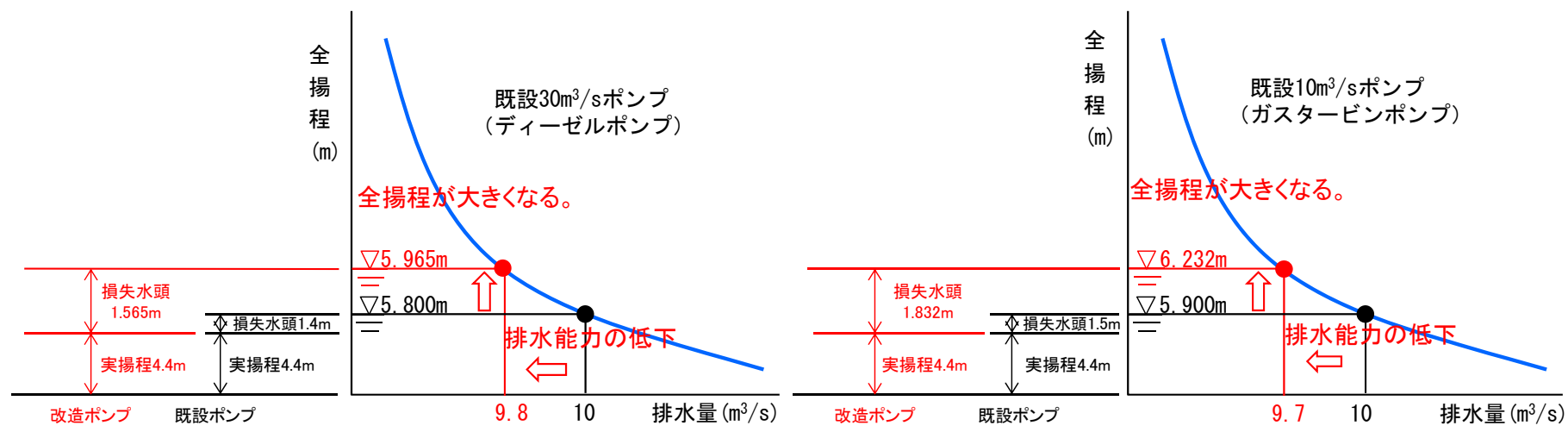


# 仁淀川床上浸水対策特別緊急事業(宇治川)の計画概要(2)

○宇治川排水ポンプ場の排水能力を $52\text{ m}^3/\text{s}$ とするには、既施設改造に伴う損失量等を考慮した結果、 $12\text{ m}^3/\text{s} + 0.9\text{ m}^3/\text{s}$ (損失量)の規格とする必要がある



○既設ポンプの全揚程と吐出量の関係図



※既設ポンプの全揚程と吐出量の関係は施工ポンプの能力図より